

別紙 群馬県野菜振興計画2026（案）に関する提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	該当ページ	項目	意見	意見に対する考え方	意見の採択により改正した箇所の有無
1		野菜振興計画の概要 推進方策	最近の報道によると、埼玉県ではコーヒー栽培が行われ、また北海道苫小牧では一人で管理できる屋内でのワサビ栽培が行われているとのこと。温暖化を活用した日本でのコーヒー栽培や、気候の影響をあまり受けず少人数で管理が可能な屋内でのワサビ栽培など、気候変動や人手不足に対応した取り組みを、群馬県でも検討してみてはどうか。常識にとらわれない柔軟な発想も大切である。	気候変動を前向きに捉えた新たな栽培や省力化の取組は重要であると認識しています。先進事例も参考にしながら、本県農業における新たな取組の可能性について検討してまいります。	無
2	P 4	スマート農業の導入による技術革新	労働力不足が深刻化する中、農作業の効率化を図るためには、地域ごとの課題に即したスマート農業技術の開発・導入を、スピード感をもって進める必要がある。優先順位をあげて具体的な対策を示すことが重要だと考える。	労働力不足への対応は重要課題と認識しており、スマート農業技術の導入推進は本計画でも重点的に位置付けています。現場ニーズを踏まえ、関係機関と連携しながら、実効性ある取組を進めてまいります。	無
3	P7	安心安全な農作物の生産	これからは有機栽培を拡大する必要がある。特に除草剤を使用せず、農薬も最小限にとどめ、人体への影響がないよう努めるべき。食の安全は人にとって最も重要であり、その取り組みを真剣にPRすることが大切である。	食の安全への関心が高まる中、有機農業の推進は重要な取組と認識しています。本計画でも環境負荷低減や適正な農薬使用の徹底を位置付けており、引き続き安全・安心な農産物の生産と情報発信に努めてまいります。	無